

星屑

VOL. 217
April '93



「月と金星」

撮影者：永井 剛氏

データ：1993.2.25

18h 22m 30s 1/30秒

フジカラー400 クロススクリーン使用

自作 16センチ反射 930ミリ F5.8 直焦点

熊本県民天文台

清和高原天文台

台長 宮本幸男

☆ ことの起り

6年前、宵の西空にプラッドフィールド彗星が美しい姿を見せ、熊本県民天文台の有志は、彗星の観測に、清和村の井無田高原に出かけたことがありました。（1987.11.22）翌日、撮影した彗星の写真を博物館で披露していると、新聞記者の方が、「その写真ちょっと貸して」。そして熊日に“プラッドフィールド彗星 写真撮影に大成功”という見出しが、「清和村は空気がきれいで、星の観測に適している。」といった内容の記事が、写真入りで掲載されました。

この記事に眼をとめた、清和村企画課の兼瀬氏（現在は、文楽会館支配人）は、「清和村はそんなに星が良く見えるのか！だとすれば、「星」でイベントが打てないか」と、彼の脳波がグッと揺れ動いたのだそうです。

数日後、博物館で彼の訪問を受けました。いろいろなやり取りの後、清和村と熊本県民天文台はお互いに手を携え、第1回スターフェスタ。“星の降る夜 in 清和”は 1988.08.11 スタートしたのです。スターフェスタは回を重ねる度に、年々参加者が増え、一昨年の“開会のご挨拶”で甲斐村長さんは「清和村に天文台を造りましょう！」と宣言され、感激の固い握手となつたのです。

☆清和高原天文台は何を目指す

観光天文台といえども、一般公開だけで好としていたのでは、長続きしないような気がするのです。多くの財源を投じ、建設された貴重な天文台です。一方、観測も長期間の継続が必要ですから、この面でも長く続いて欲しいのです。「天文台スタッフが「星」を楽しみながらお客様に接すれば、来客と共に喜びを分かち合える」、一度来られたお客様が、また来たいな！と思って下されば、長続きする訳ですが、更に一步進んで、天文研究の分野に踏み込めるようであれば、この天文台は必ず発展し、永続して運営できると確信しています。

幸い、清和高原天文台には、光電測光装置や冷却CCDカメラ・パソコン等のハイテク機材が備えられ、暗室や水素増感システムも用意されています。この恵まれた環境を活かし、スタッフが「星」を楽しむことを覚えれば、自然と観測や研究にいそしむ雰囲気を醸し出せると想っているところです。甲斐村長さんのご挨拶にもありましたが、将来「熊本県民天文台を中心にして、海の龍ヶ岳・山の清和が協力しあえれば、何か面白いことが出来る」と考えています。

☆ 清和高原天文台“オープン”はいつ

4月27日（火）開所式。（スポーツカイトのデモンストレーション有り）
翌28日午前10時より一般公開を始めます。（10時より21時半までにお越し下さい。22時閉館）

月曜日は休館しますが、火曜日～日曜日は天候に関係なく開館します。

入館料金 高校生以上¥300。中学生以下¥200です。

降るような星空の下、純ニュートン式 50cm F5 反射望遠鏡（ミカゲ光器研究所製赤道儀+苗村鏡）にナグラーのアイピースを付けて見る星像は、どんな素晴らしい見え味でしょう。胸がワクワク！

熊本から車で、およそ1時間30分、広々とした高原に大きな天文台が見えてきます。天文台のシンボルと言われるドームをやめ、スライディングルーフに固執したのも、一般公開を大前提とするからには、広い視野で星座を眺め、解説を聴いて頂いて、ゆっくり望遠鏡で「星」を楽しんで頂きたいと願っているからです。熊本県民天文台での11年にわたる一般公開のノウハウを、一杯詰め込んでのスタートです。

☆ おねがい

新熊本県民天文台も塚原古墳公園に一応出来上がりましたので、台長を永井剛先生にお願いし、私は清和高原天文台の台長として、当分の間妻と共に清和村に住む予定です。今まで長い間、不肖の台長を支持し、補佐して下さった県民天文台の皆さんに心から感謝し、厚く御礼申し上げますと共に、今後とも宜しくご指導ご協力をお願いいたします。

最後に、明るく楽しい熊本県民天文台に成長されることを心から期待します。清和高原天文台には、取りあえず8人収容のキャビン（流し台・冷蔵庫・電子レンジ・エアコン・シャワー等設備）が2棟、天文台の敷地内にあります。（有料・将来増設予定）清和村で食事の材料を仕立て行けばバッチリでしょう。

熊本県民天文台の皆さん、誘い合わせて、清和高原天文台に星を楽しみにお越し下さい。お待ちしています！



2月27日午後4時から新しい天文台で建設にご協力いただきました、建設関係の方や土地開発公社また、役場の方など会員も含め約30人ほどで新築祝いが行われました。予定では宴会が終了した後晴れていれば、関係していただいた方々に新しい天文台で星を見ていただくはずだったのですが、朝霞からは小雨まで降り、星を見ることはできませんでした。来ていただきました、来客の方々には天文台の内部を案内しました。



私はというと、当日は自宅（荒尾市）を午後1時に頼まれていたファンヒーターとステレオを積んで出発し午後2時半頃天文台に到着、すでに午前中から準備している人達と合流し、じゃまにならないように応援しました。話を元にもどしますが、新築祝いは工事関係の方に感謝状をおくり、役場の方等からお祝いのお言葉などあり、盛り上りました。7時ごろには来客されました方々を送りだし、今度は残りもので会員達の2次会がはじまりました。当日出された、はちもりは海の幸が沢山あり、これで2次会はもりあがりました。ある程度食べ終わり話がもりあがったあと、今度は残った鯛の骨をだしこの汁を作ろうと言うことになり、お味噌を買い出しにいきおいしい鯛の骨ができるようになりました。

しかし、これだけではこの日は終わらない。

高田さんが当日もビデオカメラで

撮影されていましたが、天文台の移転の時に

撮影されていた、テープの上映会や

スーパーファミコンのマリオペイントなどでの

お絵書き等、次々とでてくる、

ついにはIBMのパソコンを動かしてみよう

と言うことになり高田さん達が

IBMのパソコンと格闘。

うごく・うごかないといいながら楽しんでいました。



私はその頃持ってきていたステレオ（ミニコンではない）もならしてみよう接続し、音にノイズが出る・出ないと、時々爆音の反響にもめげずセッティング。後日寿郎さんがステレオのラックを持ってきていただき、なかなか見れる物になりました。

外は小雨が降り寒い一日ではありましたが、新しい天文台の中ではみんな暖かい雰囲気の元で、新しい出発を祝っていたようでした。



最後に当日は女性の方々には大変にご努力いただきまして、ありがとうございました。お茶をだしたり、食器を洗ったり、すぐには食べ物にはありつけなかったようで、裏方での活躍のおかげで、最後まで楽しくすごせました。この場を借りましてお礼もうしあげます。

熊本日日新聞



落成式があった新しい熊本県民天文台

新県民天文台が落成

下益城郡城南町塙原の塙原古墳公園内に建設された新しい熊本県民天文台（宮本幸男台長、会員約百九十分）が完成。二十七日、落成式が行われた。三月二日から一般開放する。

同町藤山の旧天文台が県の工業団地用地になつたための移転。新天文台は鉄筋コンクリート二階建てで床面積約百平方㍍。建設費約二千万円は移転補償費を充当した。口徑三十一㌢の望遠鏡などを備え、五月には口径四十一㌢の新しい望遠鏡も設置予定。

落成式には関係者約三十人が出席。宮本台長が「たくさんの方の協力により広く使いやすい天文台ができました」とあいさつ。同町の柿原林助役らが祝辞を述べた。

新天文台の一般開放は星の見えない日と月曜日を除いて、午後七時から同九時まで受け付ける。問い合わせは同天文台☎0964-606060。

平成5年(1993年)2月28日 日曜日

新築祝いの事が翌日の熊日新聞に載りました。

オープン初日はおおにぎわい ☺

中尾富作

どどどどどーっとバイクを走らせる。今日は天文台の仮? オープンである。しかし寒い。この日はめっちゃくちゃ寒かった。いつもなら車で行くのだが、渋滞があまり関係無い、バイクが圧倒的に早い等々、メリットだけを考えて出てきてしまったのが大間違い。うーざぶい、とヘルメットの中で唸っていたら、シールドがくもってしまった。世の中そういう甘くは無かった。メリットもあれば、デメリットもある。そう、バイクはバックができない・・・。そうじゃなくて、屋根がないから寒い。寒さて 寒い の一言しか頭の中には思い浮かばなかったほどである。

安全運転? をしながら、ようやく天文台に到着。うーざぶがっだ・・・と階段を上ると、おー、お客様も会員もいっぱいだね~。星もよー見えて・・・ん~いいねー、とひたっているとNさん、どこの暴動族がきたっただろかともたら、中尾君だったんねと一言、ひどいー、と声を掛け合いながらどれどれ、おー、なかなかよかたい。と星を眺めながらひたっていた。



あっすいません、自分ばっかり楽しんで、それでは、こちでいっちょ説明を。まえの天文台のとこよりも、ちょっと暗いかなーと思う。古墳公園の中にあるので街灯などは無い、しかもちつと凹地? にあるので市内の明かりもさほど? 気にならない? のです。嘘だと思う人も、ほんとだと思★ってる人も、一度お越しを、昼間は古墳公園でフリスビーなどして、おもいっきり遊んでみては・・・。身体が冷えきていたので



下へ降りていくと皆、わざもんで結構きてるきてる、お疲れ様でーす、どーもー、と言いながらこたつへ、うーあったかい。ごろごろと、こんなことをしている場合ではない。うちの会社の者たちが、ぜひ来たい見てみたいで迎えにこい、と言っていたのを思い出したうーせっかくのぬくぬくがー。初日から大賑わいの天文台を背に、さらに大賑わいにすべく、バイクで迎えに行くのであった。

熊本県民天文台 一般公開再開

熊本県民天文台の塚原古墳公園内移転が完了し、3月2日(火)より、再び一般公開を始めました。



「北斗七星と天文台」

撮影者：佐伯和久

撮影地：新熊本県民天文台

データ：1993年3月12日

20:30頃

露出 1分

フジカラーG400

3月2日は快晴のすばらしいお天気で、新聞などで再OPENを知った、一般のお客さん18名、運営委員を含む会員15名で、平日ながら賑わいを見せました。この日観た天体は金星、月、M42(オリオンの大星雲)、M45(すばる)、リゲル(2重星)、ミンタカ(2重星)、M41・木星(ガリレオ衛星が4個)、火星、カノープスなど

また、初日からこんな事がありました。

車にキーを閉じこめてJAFを呼んだ人・・・1人

はしゃぐあまり土足で玄関にあがった子供・・・2人

火星と間違えて、ただの星をいれてしまった運営委員・・・1人

自己紹介

佐伯 和久

初めまして。昨年11月に入会しました佐伯和久です。

家は宇土の壱水源（とどろきすいげん）の近くにあります。

小学校4年生の時、ハレー彗星を見てから、星を見るようになりました。

親に望遠鏡を買ってもらい、晴れているなら望遠鏡をベランダに持ち出し、月や惑星を見ていました。昨年の10月、天文台につれてきてもらった時、高田さんに入会を勧められて入会しました。

さて、僕は3年ぐらい前から天体写真に興味を持ち、最初の2年ぐらいは固定撮影をやっていました。このごろは高田さんに極軸の合わせなどを教えてもらづたので、ガイド撮影や直焦点撮影をやっています。

博物館のプラネタリウムが次のように変わりました。

『太陽をめぐる星たち』

投映期間：'93 3月13日～6月6日

投映時間：火～土曜 15:30～ ★（但し、春休み中は日曜と一回）

(一般向け) 日曜 11:00~ 14:00~

15 : 30 ~

雨の降る日でも星が見えるプラネタリウム。皆様も如何ですか？

総会・開所式の日程が決まりました

今年の総会は新天文台の開所式と合わせて、歴史民俗資料館で行います。また、このほど清和村高原天文台・台長に就任された宮本幸男氏の記念講演も予定されています。

☆総会・開所式

日時 1993年5月16日(日)

場所 熊本県民天文台・塚原古墳公園・歴史民俗資料館

・開所式

11:00-11:45 テープカット他 行事いろいろ(天文台)

12:00- 昼食会(お弁当) 天気が良ければ公園で

---> 弁当希望者は事前に申し込むこと=1000円

・総会

13:30-14:00 (資料館・研修室にて)

・開所記念講演会

14:00-16:00 (資料館・研修室にて)

宮本幸男氏 記念講演他

・観望会

16:30- 金星、木星 (明るい空に見える惑星や恒星)

新41cm望遠鏡を楽しんで頂きましょう

---> 夜まで

とりあえずすること……お弁当の予約

(希望者のみ、持参されてもかまいません)

天文台で、当日のお弁当の予約をしています。

天文台に電話で申込みをしてください。(TEL 0968-28-6060)

次回の星局に総会資料を同封します。

運営委員急募

「現状」　これまで、運営委員をやってこられた学生さん達が、巣立ちをされるため、又社会人の方々の転勤などで抜けられるために、どうしても人手が足りず、編成をしなおさなければならなくなりました。

自分は、運営委員をやって、1年になりますが、さすがに、"お~~~~つ、これはいいな~~つと思った事が、沢山ありました。例えば、会員の中には、色々な会社の人がおられるためにさまざまな情報が手にはいるし、色々なイベント情報もすぐにはいる。又、部屋のなかも、時には、映画館となり（もちよりのビデオ）大にぎわい。将来、北側の壁に大スクリーンを置きプロジェクターで、映写が可能となる予定。

旧天文台では、周りが住宅団地だったために、遅くまで、大はしゃぎをすることができなかったり、オカリナ？、だっておもいっきり吹けないひともいた。（わかる人は、わかる）しかし、新天文台は、そんな事は全く気にする事はないので、かなりの盛り上がり方をするだろうと思う。
オカリナも復活するかも？。

とておきには、ある曜日の運営委員の日には、毎週かなりのごちそうが出てくるために、他の曜日から羨ましがれたり、それが目的で来る運営委員もいた。

もちろん夜空だつて今までにない星空を展開してくれる。
(但し、晴れればの話。)

その他、クリスマス会（一人1品持ち寄り）や、ピールの

好きな方の忘年会や新年会も毎年行われる。名物のバーベキュウ（骨入りキャベツにめぐりあえるかも？）とにかくやってみないとこの楽しさがわからない。ぜひやってみたいと思う方、又やってみようと思う方は、天文台まで電話してください。男女年齢は、問いません。

「その他」 詳しくは、天文台まで電話で相談して下さい。

又、天文台にこられて、見物や相談されても結構です。

現在 20名 目標 4名／日 計24名

★ 仕事後や学校の終わった後のため少しでも運営委員の負担を少なくスムーズに運営が行えるようにするために、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

’93年4月からの運営委員当番予定案

火曜日…永原、浜野、竹下
水曜日…小林、立川、宇都、藪田、西村
木曜日…長谷、有馬、山本
金曜日…中島、山口
土曜日…永井、高田、中尾、国吉
日曜日…麿島、安達、甲斐

時刻問い合わせ先 03-378-3447

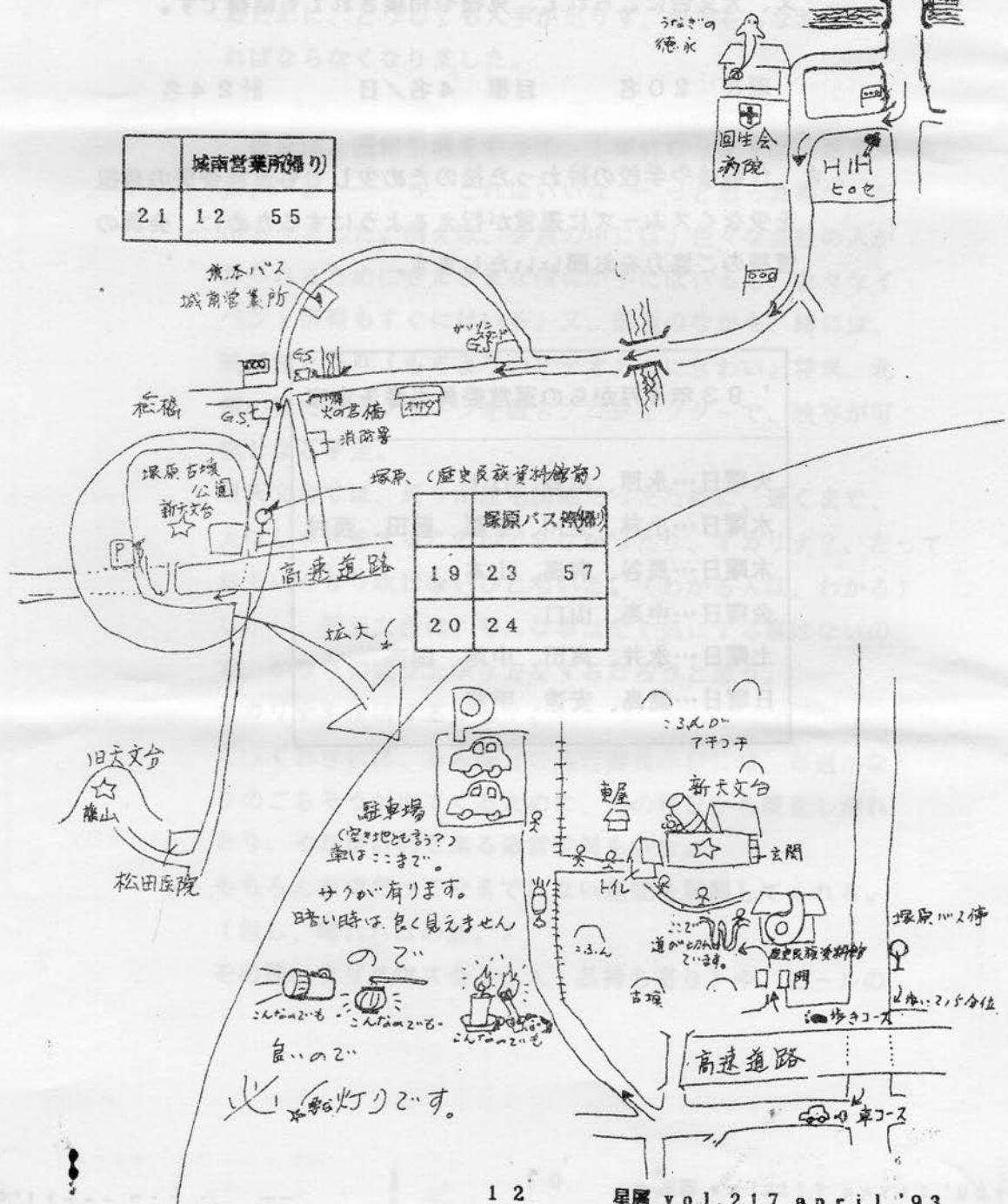
	センター発(行き)		
17	城南上り	上郷行さ	城南下り
	00	25	50
18	城南上り		
	40		

東ハイバス

ウイーンの森

上郷行き…塚原バス停に止まります
他は城南止まり

	城南営業所(帰り)		
21	12	55	



ひとさまの惑星

(受領会誌紹介) (高田)

ということで、勝手にまた新コーナを作ってしまいました。毎月、よその同好会から、いろんな会誌が送られてきます。その中で（私が独断でえらんだ）記事を紹介していきます。なお、これらの会誌は天文台でみることができます。暇なときは、バラバラとめくって、「ひとさまの惑星」をのぞいてみたらどうでしょう。

今月は仙台天文同好会の「THE CONSTELLATION 星座」Vol. 43 No. 475 1993/2 です。

毎回たっぷりのページを使って、観測報告・記録など非常に充実している会誌です。今月は26頁。いつもTOPに陣取っている「彗星ノート」は彗星の観測報告が載っています。今回は、スイフトタットル彗星(1992t)です。(点画で尾の様子が描かれています)。尚今回から、執筆者が富永 明さんから遊佐 徹さんに変わられました。

それ以降の記事をタイトルだけ並べてみると、

- 「トータリスは雲の上に 戸田雅之」
- 「光電管による星食の観測 松井 聰」
- 「41cm望遠鏡使用講習会報告 松浦善博」
- 「白黒ネガ・フィルMによるコンポジット法 竹内修一」
- 「小惑星の天体撮影について 菊池恵」
- 「教育における天体写真 牛坂一洋」
- 「フーコが目指した巨大望遠鏡への道⑥ 吉田正太郎」
- 「朝一番遅いのは? 遠藤武彦」
- 「星食観測に便利な? VTRについて 鈴木浩之」
- 「月面CGA作成記 鈴木浩之」
- 「星座めぐりの歌」
- 「幹事会報告 牛坂一洋」



まったく、充実した記事の多いこと!いつも感心してしまいます。「星座」の記事はこれからたびたび紹介していくことになるとおもいます。

まず一回目はこんなところです。次からはもう少しつってこんで書きます。(書くと思います)

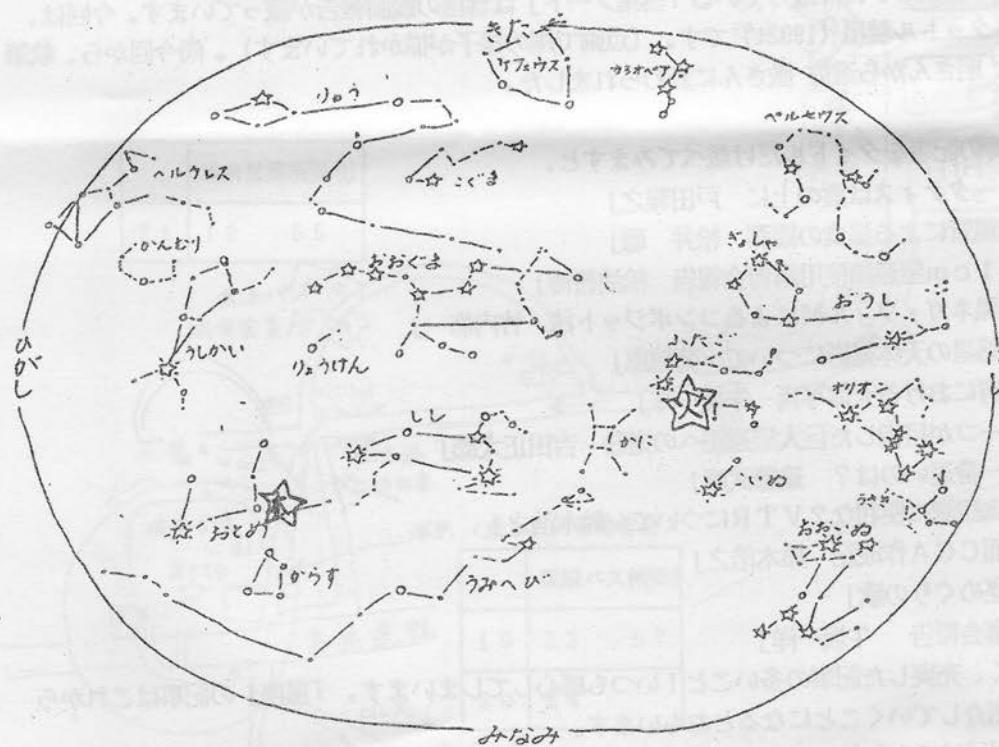
☆お知らせ 入門! -パソコン通信-

さて、この原稿を書いている最中に決まったのですが、4月の17日または24日ぐらいに、これからパソコン通信をはじめてみようかと考えている方を対象に「パソコン通信講座」を開きます。じつは、すでに一部の運営委員の間でパソコン通信の連絡網ができつつあるのです。この機会に運営委員の人はもとより、会員の方もはじめてみられてはいかがでしょう?

幹事・進行は一応私、高田がやりますが、ここはベテランの白石さんや松野さん^{応援}に来て欲しいところですね(と、記事中で頼み込む) 参加希望の方は高田(TEL0968-46-3512)に連絡を。

Keikoの星空散歩

4月上旬 ☆ 午後9.00頃



「うやうやしい? 見にくかったの? 前の形に磨じみました
いかでしうか...」

※1等星
☆2等星
○3等星
·4等星以下

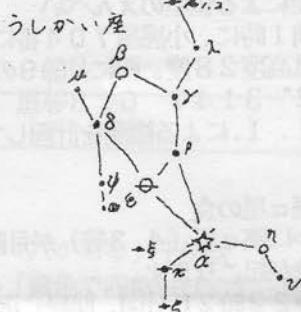


4月の見所 (+3月号)

星雲 … 1個の星では無く、ガスや沢山の星が集まってボーッと見える物。

M 83 … うみへび座のしっぽの所に在る
系外星雲。

NGC 3242 … うみへび座の御腹の下に
在る木星状星雲です。



星団 … バラバラと星の散らばった散開星団とボール状に星が集まった状星団が有る。

M 48 … うみへび座の一角獣座側の端っこに在る散開星団。双眼鏡でも見判ります。

M 68 … うみへび座のしっぽの方、からす座近くに在る、球状星団。

重星 … 目で見ると1個、しかし、双眼鏡や望遠鏡で見ると幾つかに別れて見えます。

見掛け上の重星と、お互いに引き合っている連星が有ります。

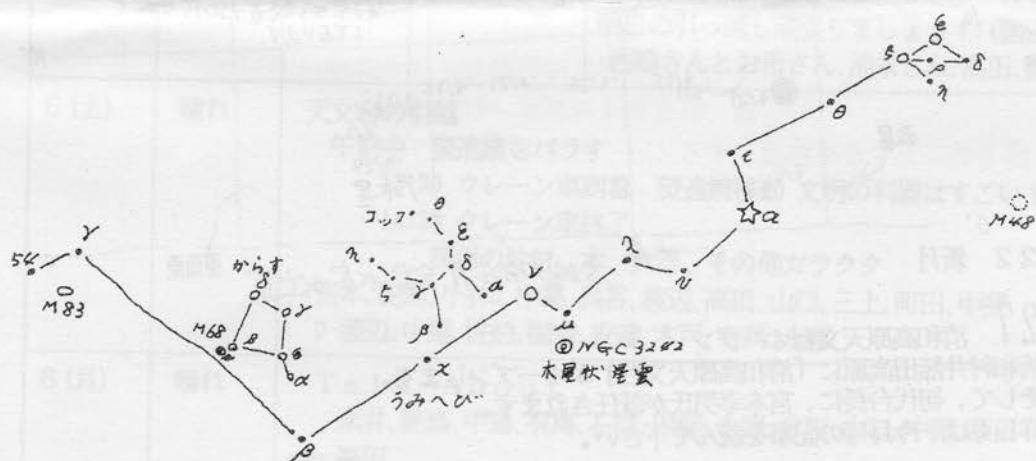
うみへび座 ε 星 … 頭の所に在る ε 星は黄色の主星と青い伴星の連星ですが、各々が
又、お供の星を持っていて、四重の連星になるそうです。

からす座 δ 星 … 黄色い主星と赤黒い伴星の二重星です。

うしかい座 ε 星 … 黄色い主星と青い伴星の様子がとても美しいのでブルケリマと名
が付きました。ブルケリマとは最も美しいものと言う意味です。

うしかい座 δ 星 … 黄色の主星と紫色の伴星の連星です。

うしかい座 π 星 … 同じ様な色と明るさの連星です。



4月の天文現象&行事

4/2 小惑星による恒星のえんぺい

4月2日午前1時に、小惑星704番による、6.8等星の星食が予想されています。

熊本の条件は高度28度。西に月齢9の低い月があります。

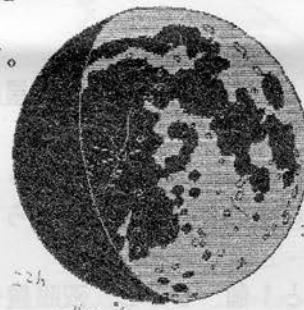
恒星は $-12^{\circ} 31' 47''$ 6.8等星 うみへび座です。

天文台ではI.I.による観測を計画しています。

4/2 かに座α星の食

4月2日、かに座α星(4.3等)が月齢の月に隠される現象が起こります。

熊本では午後22時26分頃、暗闇に潜入します。



4/7 満月

4/12 Talk ABOUTでーす。

4/14 下弦

4/20 月と金星が接近

4月20日、明け方の東の空で、月齢28の月と-4.5等星の金星が約3度まで近づきます。

4/22 新月

4/27 清和高原天文台オープン

清和村井無田高原に「清和高原天文台」がオープンします。

そして、初代台長に、宮本幸男氏が就任されます。

詳しくは、今月号の記事を読んで下さい。

4/29 上弦

【2月の県民天文台～運営日誌より～】

開台率 4日／28日=14.3%

来台数 20名

日付	天気	来客数	担当運営委員	
2(火)	晴れ	8人	山口、町田 田中友美枝	<ul style="list-style-type: none"> ・月が明るい。「穴がある」子供談 ・金星も明るい「黄色で四角っぽくて三角っぽい」子供談 ・火星も明るい「赤と黄色がまざった色」子供談 ・M42、47、シリウス、月、金星、火星、M4 ・シリウスも明るい「ダイヤモンドのよう」夫談 「10年目にほしいわねえ」妻談 夫「・・・」(町田)
3(水)	はれ くもった	7人	小林J、安達	月、金星 旧天文台最後の夜はどんぐもりだった 艷島
4(木)	晴れ	ペア	宮本、渡辺	ペア1組。賑やかな二人で月や星を見ている間中あかるく話をされて、ときには感動のヒメイ・サケビをあげながら星空を月夜にもかかわらず満喫されていきました 月、金星、火星、シリウス、M42 (渡辺) 中島、有馬、艶島、宮本
5(金)	晴れ	3人	三上、中尾 国吉	今日で最後の運営 開けるのも「これで最後の・・・」閉めるのも「これで最後の・・・」と言いながらやりました。しかしお客様は無くちょっと淋しい・・カナ 明日の引っ越し頑張りましょう！(国吉) 西嶋さんとお母さん、池永さん、高田、艶島
6(土)	晴れ	天文台の引越 午前中 望遠鏡をバラす 13:30 クレーン車到着 望遠鏡移動 文明の利器はすごい！ 14:30 クレーン車終了 部屋の片付、本、食器、その他ガラクタ 宮本、艶島、小林J、中島、長谷、渡辺、高田、山口、三上、町田、甲斐、D-渡辺、中尾、佐伯、国吉、安達、木戸、有馬、永原		
8(月)	晴れ	Talk-About 永井、艶島、中島、有馬、石原、甲斐、永原、立川、山口、中尾、藪田 高田		

【2月の県民天文台～運営日誌より～】

開台率 4日／28日=14.3%

来台数 20名

日付	天気	来客数	担当運営委員	
2(火)	晴れ	8人	山口、町田 田中友美枝	<ul style="list-style-type: none"> ・月が明るい。「穴がある」子供談 ・金星も明るい「黄色で四角っぽくて三角っぽい」子供談 ・火星も明るい「赤と黄色がまざった色」子供談 ・M42、47、シリウス、月、金星、火星、M4 ・シリウスも明るい「ダイヤモンドのよう」夫談 「10年目にほしいわねえ」妻談 夫「・・・」(町田)
3(水)	はれ くもった	7人	小林J、安達 月、金星	旧天文台最後の夜はどんぐもりだった 艶島
4(木)	晴れ	ペア	宮本、渡辺 ペア1組。脇やかなお二人で月や星を見ている間中あかるく話をされて、ときには感動のヒメイ・サケビをあげながら星空を月夜にもかかわらず満喫されていきました 月、金星、火星、シリウス、M42 (渡辺) 中島、有馬、艶島、宮本	ペア1組。脇やかなお二人で月や星を見ている間中あかるく話をされて、ときには感動のヒメイ・サケビをあげながら星空を月夜にもかかわらず満喫されていきました 月、金星、火星、シリウス、M42 (渡辺) 中島、有馬、艶島、宮本
5(金)	晴れ	3人 三上、中尾 国吉		今日で最後の運営 開けるのも「これで最後の・・・」閉めるのも「これで最後の・・・」と言いながらやりました。しかしお客様は無くちょっと淋しい・・カナ 明日の引っ越し頑張りましょう！(国吉) 西嶋さんとお母さん、池永さん、高田、艶島
6(土)	晴れ	天文台の引越 午前中 望遠鏡をバラす 13:30 クレーン車到着 望遠鏡移動 文明の利器はすごい！ 14:30 クレーン車終了 部屋の片付、本、食器、その他ガラクタ 宮本、艶島、小林J、中島、長谷、渡辺、高田、山口、三上、町田、甲斐、D-渡辺、中尾、佐伯、国吉、安達、木戸、有馬、永原		
8(月)	晴れ	Talk-About 永井、艶島、中島、有馬、石原、甲斐、永原、立川、山口、中尾、藪田 高田		

星屑ふらいたあ

パソコン通信に

ゴジラが居る事を知った

ある日。

すみません、お読みください。続々と……。



今月の表紙は永井先生に御願いしました。三日月と金星、見られましたか？。

もし、この日片目は肉眼で月を、もう片方の目

は望遠鏡で金星を見る事が出来たら、

親子の三日月が見えたかな~~~~~と

お気楽な事を考えた私です。



他にも宮本先生や、佐伯君にも写真を

頂きました。豪華になって嬉しい。嬉しい。

記事を書いて下さった皆様ありがとうございます

ございました。久~~~~~し

振りに星屑の担当を致しました。

なにしろ、五ヶ月振りの事でしたので

編集の事をすっかり忘れてしまって

ちょっとばかり、緊張しました。

誤字、脱字、間違いが有っても、許して下さいね。



さてさて3月はいよいよ新天文台が運営再開しました。新聞に載ったりニュースになって運営再開も有名になりました。一般のお客さんも大勢御見えになっています。会員の皆様、とーってもきれいになった新天文台、一般のお客さんに負けないように大勢お出で下さい。新しいって気持ち良い事だと改めて思われる事でしょう。…………多分。運営委員も腕を鍛えて（今はまだちょっと屋根が重いので文字通り腕が鍛えられています。力持ちになれるかもしません）

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1993年 4月号 通巻217号

発行所 熊本県民天文台 ☎ 861-41

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内

☎ 0964-28-6060

熊本県民天文台事務局 ☎ 860 熊本市古京町3番2号

☎ 096-324-3500

振替口座 熊本8-24463

熊本県民天文台事務局

編集担当 KUNI